

# 第3回 看護師の臨床・教育・研究に役立つ 知識・スキルのアップデート講習会

日時：2014年12月16日（火）16:00～21:00

会場：せんだいメディアテーク1階オープンスクエア

対象：看護師の皆様、教育・管理ご担当の方もぜひご参加ください。

参加費は無料です。当日参加もOKですが、事前に参加申込をされた方には資料を準備いたします。

16:00～

## HIV診療の現在

しらかば診療所 院長 井戸田一朗

## 訪問看護の魅力と実際

仙台北訪問看護ステーション  
所長 中島ふみ

## 臨床での看護研究に活かせるABC 研究の方法と実際

東北大学大学院医学系研究科総合地域医療研修センター 助手 相田佳恵  
東北大学病院 卒後研修センター 助教 門馬靖武

## 看護師が行う特定行為：あなたは専門職としてどのように責任をとりますか？

東北大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授 朝倉京子

18:30～

## パートナーシップ・ナーシング・システムの実践

東北公済病院 看護部長 熊谷恒子

## 東北大学クリニカルスキルスラボを活用して シミュレーション教育にチャレンジ！

東北大学病院 卒後研修センター 助手 松田綾音  
東北大学病院 卒後研修センター 助教 門馬靖武

## 医療の質・安全向上を目的とした

### シミュレーション看護教育の実践

### —インストラクション・システムデザインの活用—

青森県立保健大学健康科学部看護学科

教授 織井優貴子

参加申込、お問合せ先は  
お電話かメールにて  
022-717-8867(平日9～17時)  
csl@cs.med.tohoku.ac.jp  
お気軽にご連絡ください



当日、光のページェントは  
23時まで開催中です！

主催：東北大学大学院医学系研究科 総合地域医療研修センター  
後援：公益社団法人 宮城県看護協会

## 講師のプロフィール紹介

### 井戸田 一朗(いとだ いちろう)



1995年岐阜大学医学部卒業、都立駒込病院での研修を経て、1999年より東京女子医科大学感染症科助教。2003年から2005年にWHO南太平洋事務所にて、結核対策専門官として南太平洋15ヶ国における結核・感染症対策に従事。2007年にしらかば診療所を開院。2010年より世界エイズ・結核・マラリア対策基金技術審査委員。医学博士、日本感染症学会感染症専門医・指導医、日本性感染症学会認定医、日本エイズ学会理事。

わが国のHIV陽性者数は増加傾向にあり、これまでに2万人を超える陽性者数が報告されてきました。治療の進歩はめざましく、寿命は非常に伸びています。そんなHIV陽性者を取り巻く現状を、クリニックの視点で分かりやすくお話します。

### 中島ふみ(なかじま ふみ)



OLから心機一転看護師を目指す。仙台市医師会付属高等看護学院卒業後仙台社会保険病院(現JCHO病院)に勤務。育児のため退職。子供が小学校に入ったのをきっかけに仕事復帰。医療法人千葉クリニック仙台北訪問看護ステーションに勤務。クリニック内の移動で訪問看護を始める。無我夢中で勤務している内訪問看護に没頭。訪問看護認定看護師取得。東北文化学園大学在宅看護非常勤講師。東北福祉看護学校在宅看護添削指導員

皆さんに訪問看護の魅力を伝えることが出来たらいいなと思っています。

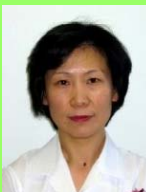
### 朝倉京子(あさくら きょうこ)



千葉県出身。日本赤十字看護大学看護学部卒業、日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士後期課程満期退学、博士(看護学)の学位取得。日本赤十字医療センター看護師、厚生労働省医政局看護課保健師係長を経て、平成14年より新潟県立看護大学看護学部助教。平成21年に東北大学大学院医学系研究科教授(看護教育・管理学分野)に着任し現在に至る。看護職の専門職性、看護職の職業移動と労働、看護領域のジェンダー分析に取り組んでいる。

看護師の特定行為に関する法律が成立し、看護師の行う医療行為が拡大する方向にあります。この状況に対しそれぞれの看護師がどう対応すべきなのか、目標と一緒に考えたいと思います。

### 熊谷恒子(くまがい つねこ)



昭和54年石巻赤十字看護専門学校卒業、同年4月国家公務員共済組合連合会東北公済病院入職、平成元年看護師長、平成22年看護部長、平成25年認定看護管理者認定、平成26年4月から看護部長。

福井大学医学部附属病院で開発された看護方式「パートナーシップ・ナースィング・システム」をご紹介します。より良い看護の提供を一緒に考えてみませんか。

### 織井優貴子(おりい ゆきこ)



昭和56年3月日本赤十字中央女子短期大学看護学科卒業。平成9年3月玉川大学文学部教育学科教育学専攻卒業(学士文学)平成14年3月東北大学大学院医学系研究科博士後期課程障害科学専攻修了(博士(障害科学))昭和56年4月看護師免許取得。平成21年公立大学法人青森県立保健大学大学院健康科学研究所 教授(成人・高齢者看護学分野)公立大学法人青森県立保健大学地域連携国際センターがん化学療法看護認定看護師教育課程 主任教員

看護基礎教育や、看護継続教育での教育研修企画を有意義な内容にしたいと考えている方のヒントになればと思います。

### 相田佳恵(あいた よしえ)



東北大学医学部保健学科看護学専攻卒業。在学中に、米国カリフォルニア大学サンタバーバラ校へ交換留学。帰国後、看護師、保健師免許を取得。東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻修士課程卒(国際保健学)。名古屋第二赤十字病院に勤務し、2013年6月より総合地域医療研修センター助手として働く。

研究の入り口となる文献検索を少しでも好きになっていただけのように、文献検索のコツをご紹介します。

### 門馬靖武(もんま やすたけ)



相馬市出身、福島県立相馬高等学校卒業。東北大学医療技術短期大学看護学科卒業後、東北公済病院にて病棟看護業務に従事。東北学院大学卒業 学士(経済学)、山形大学大学院医学系研究科看護学専攻修了 修士(看護学)、東北大学大学院医学系研究科医学専攻修了 博士(医学)、大学院において、質的・量的研究の双方を学ぶ。2009年より東北大学病院卒後研修センター助教として、東北大学クリニカル・スキルスラボに専任でシミュレーション教育を中心とした継続教育に携わる。

臨床での教育ならびに研究について、皆さまのお役に立ちたいです。ケアリングや看護倫理に興味があります。新人教育そして日常のトレーニングなどに、東北大学のクリニカルスキルスラボをどうぞご利用ください。

### 松田綾音(まつだ あやね)



仙台出身。会社員から転身、自身が鍼灸・漢方による治療を受けた時のような感動を少しでも多くの方に再現したいと考え鍼灸師に。赤門鍼灸柔整専門学校卒。市中治療院勤務の後、東北大学病院 漢方外来、東北大学大学院医学系研究科 先進漢方治療医学寄附講座にて鍼灸外来での施術、講座での研究補助に従事。2010年より東北大学病院 卒後研修センター 助手 東北大学クリニカルスキルスラボ専任教員としてラボ運営に従事。

殆ど全ての仕事か0JTの中で、安全は気になるのに文脈的な理解が不得手でKYTや小集団活動は割りに体験してきました。文脈より、機械やシミュレータに目がいきがちな(私の様な)方には、研究や分析に基づいた「シミュレーション教育」は合っている様に思います。

お申込み、お問い合わせはこちら

東北大学クリニカル・スキルスラボ

電話：022-717-8867 平日9時~17時

メール：csl@csl.med.tohoku.ac.jp

お気軽にお問い合わせください。

お申し込みはメールもしくはお電話で受付中！

会場：せんだいメディアテーク  
1階  
オープンスクエア